

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設理念・職員理念に基づき、入居者に目、耳を傾け、入居者の思いを大切にされたケアを心がけている。毎月のケア会議で振り返りを行い、職員全員で共有し日々の実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在は新型コロナウイルス対策により地域への催し等への参加は自粛しているが、可能になれば近隣住民へ防災訓練の参加の呼びかけを行ったり、職員が神社の清掃に参加する等地域との連携を図っていく。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染症予防対策のため、集会による運営推進会議は行なえていない。報告資料の送付により利用者状況、職員体制、事故報告を行っている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村へは運営推進会議の報告資料により事業所の現状を把握してもらい不明な点や相談等がある場合はすぐに連絡がとれるような関係作りが出来ている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のケア会議の場で身体拘束適正化委員会を行い日々のケアの中で身体拘束となり得る行為はないか振り返りを行い職員間で共有している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3か月に一回以上行わなければならない身体拘束等適正化対策検討委員会を毎月のケア会の際に開催しており、しっかり取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者やリーダーは日々のケアの中で虐待につながる言動や行動が行われていないか注意し、毎月のケア会議内では職員全体の問題として話し合いを行い虐待防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	成年後見人制度を活用し入居される方がおられる場合に備えケア会議の中で手続き等に関する知識を深める機会を作っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の前には、入居者と家族の不安に思う点や疑問について説明し十分理解してもらった上で契約している。退居の取扱いについても医療の必要性や制度についての説明をし同意をもらった上で解約としている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の入居者との関わりや学習療法の中で入居者の思いや要望を確認している。家族からは電話や面会、お支払い等の訪問時に質問や要望を聞く機会を設けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者や家族等から要望はありましたか？あった場合、どのように反映させましたか？ 回答：ご家族訪問時に早く通常に面会ができるようになってほしいですねという声が聞かれます。感染対策については運営陣を含めての会の中で話し合い決定しており、入居者様と職員を守る事を第一に考えた結果、桜の園では入館制限を継続する事を伝えご理解いただいています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が管理者やリーダーに悩み等を相談しやすい環境作りに努めている。また管理者や法人代表、役員と職員とが話し合う機会や個別面談を定期的に行い、職員の意見が反映できるように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の勤務状況や実績を管理者やリーダーが日々観察し人事評価を行い、代表へつなげている。代表者や役員は、職員との個別面談や定例会への参加により個々の状況を把握し、給与面や勤務形態の変更等を検討している。また職員の研修や業務ケア会議には時間外手当を支給し職員の意欲向上につながるよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は日々のケアの中で職員の教育指導を行いながら資質向上に努めている。職員の力量を見極め、必要な研修が受けられるよう代表者へつなげている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同市内のグループホームの会に出席し、他施設との交流の機会を作っている。コロナ禍であり、他グループホームの行事等への参加は出来なかったが、管理者同士が電話で情報交換したり悩み等を相談し合える関係作りが出来ている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、暮らしを共にする者同士の 関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者は人生の先輩であり、尊敬 の気持ちを忘れず接することを心 がけている。共に生活する家族と 思ってもらえるように努め、日常生 活作業等を行ってもらいながら感 謝の言葉をかけ、利用者の意欲や 生きがいにつながるよう努めてい る。			
15	馴染みの人や場 との関係継続の 支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染み の人や場所との関係が途切れないよ う、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出規制により外部との交流は難 しいが、ご家族とガラス越しの面会 を行い、大切な人との繋がりが保 てるよう支援している。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把 握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環 境、一日の過ごし方の希望や意向の把 握に努めている。	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話や学習療法の回想の 中から、入居者の生活歴や暮らし 方、思いについて把握し、職員間 の申し送りや毎月の学習療法定例 会の中で職員全員で共有し、入居 者一人ひとりの思いや意向に沿う よう努めている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケ アのあり方について、本人、家族、必要 な関係者と話し合い、それぞれの意見 やアイデアを反映し、現状に即した介 護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者本人や家族の意向や思い を確認し、職員や計画作成担当者 でカンファレンスを行い介護計画を 作成している。基本的に6ヶ月毎 であるが毎月モニタリング評価を 行い、必要に応じ変更している。会 議に参加できない家族には、電話 で確認を行い同意をもらっている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実 践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づ きや工夫を個別記録に記入し、職員間 で情報を共有しながら実践や介護計画 の見直しに活かしている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の日々の様子や状態に変 化はないか確認し、個人記録と業 務日誌により全員が共有できるよ うにしている。対応の仕方について も職員間で話し合いをし、担当者 会議で協議し、介護計画の見直し につなげている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支え るための事業所 の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサービ スに捉われない、柔軟な支援やサービ スの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が受診が必要になった場 合、利用者の生活状況や日々の体 調等についての理解ができている 職員が対応し、医師に適切な情報 提供を行っている。家族が受診対 応を行う場合は、事前に受信先へ 状態や状況を伝え、情報提供して いる。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通常は地域住民との防災訓練や除草作業等、地域との協働を図っているが、今年度は新型コロナ対策により地域との協働が難しかった。今後緩和がされたら同一法人のデイサービスセンターでの地域のサークルの舞踊や演奏を聴きに出かけたり展示会等に出かける機会を作っていく。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関以外で、本人や家の希望するかかりつけ医がある場合には、希望に沿った医療機関を受診できるようにしている。かかりつけ医に専門医がない場合は医師と相談の上専門医への受診を行い、家族が受診対応できない場合は職員が受診対応を行い、結果は家族へ報告し、業務日誌により職員全員が共有できるようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院が必要になった際は、病院関係者にホームでの状態の情報提供をし、安心して治療が受けられるよう努めている。出来るだけ早期に退院しホームでの生活に戻れるよう、病院での様子や状態を情報提供してもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関と相互に情報提供を行っており、退院後の生活に戻れるような体制づくりに努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、重度化やターミナルケアの対応や指針について説明をし、同意をもらっている。時間の経過や状況により気持ちは変化する可能性もあるため、その都度再確認をし退居の可能性も含め説明をし、看取りを希望される場合は協力病院や訪問看護師と連絡を取り対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のみだけでなく、利用者の気持ちの変化にも配慮し、その都度再確認も行い対応できている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の急変や事故発生時に備えて母体病院で行われる安全管理講習等がある場合は参加し、実践力を身につけている。緊急時に備えてかかりつけ医、家族、職員への連絡方法のマニュアルを作成し、全職員が周知できるようにしている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災マニュアルを作成し、災害用備蓄品として3日分の水、非常食を備え、消火器や火災設備等は保安協会により点検がされている。年に3回以上の防災訓練を実施している。様々な時間帯を想定しての訓練を行っているが、特に夜間は職員一人体制での避難誘導となるため地域住民への協力は不可欠である。感染症対策により今年度も職員と入居者のみの訓練となったが、可能になれば地域住民の方へ参加の呼びかけを行う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訓練については、様々な時間帯想定で行っていますが、コロナ禍ではどのように日頃から地域と協力体制を築いていくのか(桜の園だけでなく)が課題であると思いますので今後のためにも地域とつながりがもてるよう検討していただければと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の人格を尊重し、敬意を持って接することを心がけている。入居者のプライバシーが守られるよう、申し送りや職員間の会話の際には、入居者の氏名がわからないように会話をしたり、話す場所にも配慮をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し方や話す内容だけでなく場所にも気を付けており、利用者の人格を尊重するとともにプライバシーに配慮している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームでの基本的な一日の流れはあるが、利用者のその日の状態や気持ちに合わせ、本人のペースで過ごせるよう入浴や食事、業務の時間等を変更しながら、入居者様一人一人の希望に沿った支援が行えるようにしている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦手な食材等がある場合は材料や調理法を変更し、入居者にとって食事が楽しみとなるよう支援している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立表は職員が一か月単位で作成し、母体法人の管理栄養士によって栄養バランスやカロリー、水分量等のチェックを行い作成している。利用者の個々の食事量、水分量は毎日記録し、栄養、水分の摂取が十分ではない方には個別で献立変更をしたり、嗜好品や果物等で補う等工夫し支援している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者には毎食後、歯磨きうがいを行ってもらっている。自分で出来ない方は、声かけや誘導により出来る部分だけ行ってもらい、できない部分を職員が介助し磨いている。また、食事時のむせこみや誤嚥を防ぐため毎食前には口腔嚥下体操を行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者自身にも行ってもらいつつ不足している部分のみ支援し口腔内の清潔を保持できるようできている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄記録を作成し、一人ひとりの機能や排泄パターンを理解できるようにしている。失禁がある方でも日中は普通の下着を使用し、トイレでの自然排泄が行なえるよう支援し、パット使用の方には個々に合わせたタイプを使い分け、排泄動作全般ができない全介助の方は、紙パンツやパットを使用し職員が交換している。夜間にポータブルトイレで排泄できる方には、コールや職員から声かけ誘導により排泄ができるよう支援している。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄記録や声かけ誘導等を行っており、全てをおむつで対応せず、一人ひとりに合わせた支援を行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	清潔を保持するため毎日入浴しているが、入浴拒否の強い方には、言葉のかけ方やタイミングを工夫したり、職員が交代し対応する等、上手く入浴へつなげられるよう対応している。基本の入浴時間は決まっているが、本人の希望や体調に合わせて時間変更や延長をし、入浴が楽しい時間となるよう支援している。体調等により入浴が出来ない場合は蒸しタオルで清拭をしている。	/	/	/
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームでの一日の大まかな流れは決まっているが、入居者の状態や思いに合わせて、居室で休息できるようにしている。夜、不眠傾向の方は日中の活動や運動を行ったり、寝具や室内温度にも注意し、職員と対話をしながら安眠につながるよう支援している。精神的な疾患が原因で不眠となっている方には、かかりつけ医や専門医と相談し内服を使用する場合もある。	/	/	/
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	誤薬事故がないように入居者の薬について職員間での確認に努めている。処方された薬については、職員全員が確認できるように処方箋を個人ファイルと業務日誌に綴り、薬の目的、用法用量、副作用について理解できるようにしている。また、薬の内容の変更時や追加薬についても同様にし、職員全員が確認できるようにしている。服薬には3名の職員が関わり、介助時には氏名、日付、服用時間を声に出して行い、確実に安全な服薬管理ができるよう努めている。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	引き続き一人ひとりの症状等の把握を行い、適切な服薬支援に努めてもらえたらと思います。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームの中でそれぞれの入居者が役割を持ち、張り合いのある暮らしができるよう、自分の能力に合わせた作業をしたり、趣味、嗜好等を楽しまれている。また、職員が入居者から人生の先輩としての生活の知恵や知識を教わることもある。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在は感染対策により制限をされており、園庭の散歩等出来ることを行っているが、今後制限が緩和されたら市内、市外等へ出かけ気分転換がはかれるよう支援していく。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の現状では職員が同行して買い物に行くことは出来ていないため、職員が本人が希望する物を聞き、入居者個人の預かり金の中から購入している。収支報告は、入居者一人一人の金銭管理簿を作成し、レシートを添付し家族に確認をしてもらっている。自分のお金が自由に使えない事の不安感や権利について職員は理解し、なるべく本人や家族の意向に沿うよう支援していく。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の中には、家族へ手紙や年賀状、電話のやり取りをされている方もおられる。入居者の状況に合わせて、職員が仲介役となったり代筆を行い、入居者と家族の関係性が途切れないための支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時には自宅で使っていた物を持って来てもらうよう家族に伝えている。共用のスペースには家庭的な家具を使用し、季節を感じられる花や飾り物を置き、居心地良い空間となるよう努めている。また窓からは洗濯物干し場や畑が見え、季節感や生活感が感じられるようにしている。入居者が不快にならず快適に過ごせるよう、物音や室温、光の調整等に配慮している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・共有スペースは家庭的な雰囲気を感じられるように配慮されており、室温や光の調整等も利用者が居心地よく過ごせるよう努めている。</p> <p>・敷地の整備について  回答：以前より、広い敷地を有効活用して欲しいというアドバイスをいただき、代表へ要望を出しています。入居者様が散歩や花見を楽しめるようなスペースとして活用できるよう整備の提案を行っていきます。</p>	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の暮らしの中で本人が希望する食事や服装、受診先の変更等が自己決定できるよう、日々の会話や学習療法時の言葉の中からくみとり、自己表現ができるよう働きかけている。コロナ禍による規制が緩和されたら希望の場所への外出等も実現したい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の日々の学習療法の回想や会話の中で、親しい友人や馴染みのある場所、昔ながらの生活習慣等、ケア会議の中で職員同士で共有しケアに生かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者それぞれの栄養摂取の状態、排泄状態、居室の安全面等、職員全員が共有し、健康に生活が送れるよう支援している。ケア会議では問題点等はないか確認し安全かつ自立した生活が送れるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の大まかな流れは決まっているが、これまでの入居者本人の生活習慣を尊重し、入浴時間を変更したり居室で休んだりできるよう、思いに合わせた生活が送れるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居する際には自宅で使い慣れた物や家具、家族の写真等、持って来てもらうよう伝え、自宅での生活と同じように安心して暮らしてもらえるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は感染症対策による規制のため、行事等への参加は出来ていないがコロナ禍が収束した際には希望の場所へ出かけたたり催し事にも参加できるよう支援していきたい。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの中で入居者一人ひとりが役割を持ち、張り合いのある暮らしができるよう、それぞれの入居者の得意な事や能力を職員は見極め、やりがいを感じるできるよう対応している。			



47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の入居者同士の会話や職員との学習療法中の対話の中で、個々の生活歴や大切にしている物、好きな事等を傾聴し、生活の中で生かせるよう支援し、いきいきとした暮らしが送れるよう支援している。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	今のコロナの状況になってからは外部との交流は難しく行えていないが、収束に伴い近隣の方と交流し関わりがもてるよう支援していく。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年は地域との交流は叶わなかったが、入居者には自宅と同じように安心した暮らしが送れるよう、職員は一人ひとりの言葉や思いに耳を傾け笑顔で過ごしていただけるよう支援している。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	